

令和6年度(4月)

人事改革の方針 及び 行政改革推進計画に係る

職員アンケート結果

<概要>

実施概要

対 象 者 正規・会計年度任用職員（長期派遣職員、産休・育休職員、病休及び日々雇用職員を除く）

実施方法 上越市電子申請システムにより実施

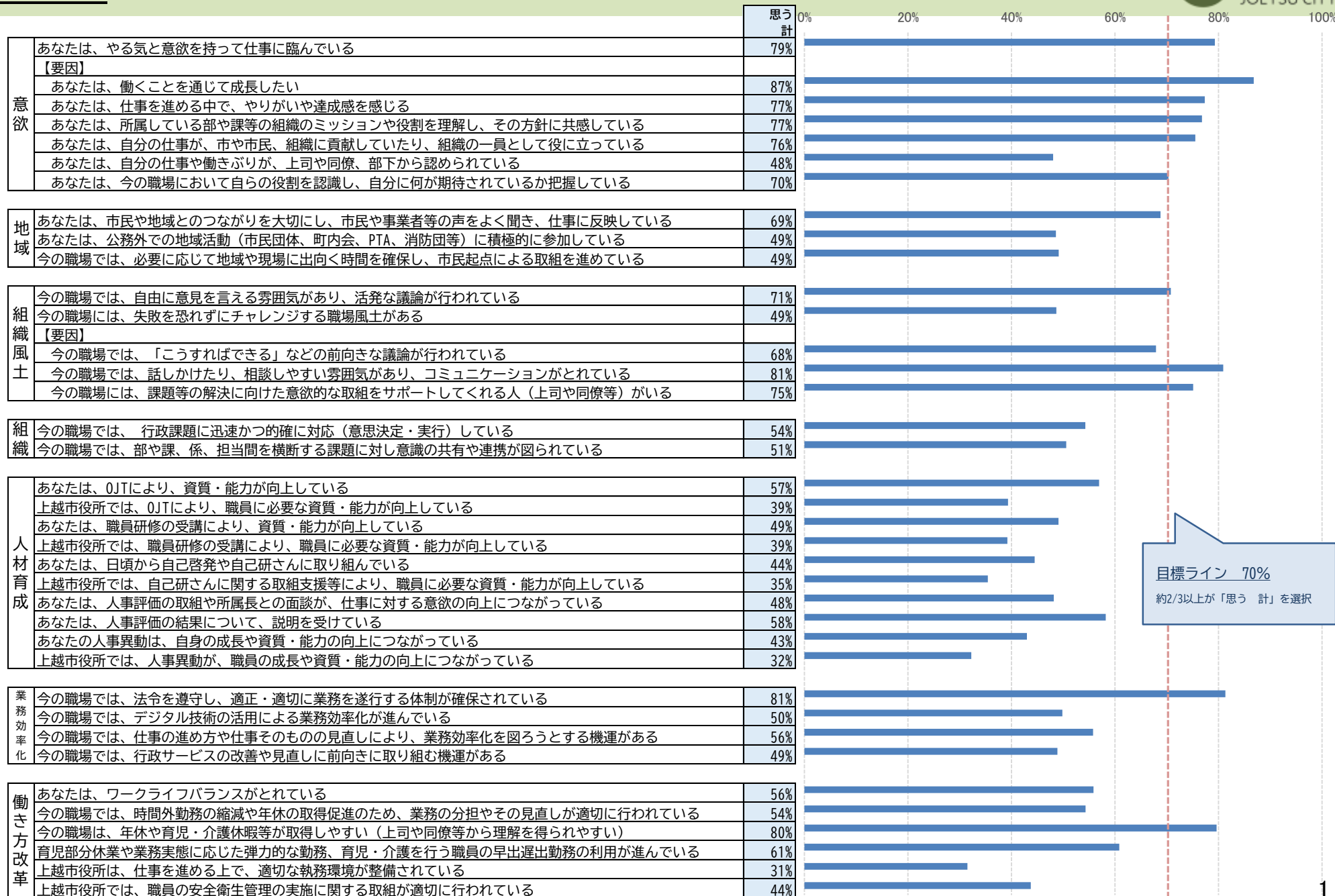
実施期間 令和6年4月12日(金)～5月8日(水)(27日間)

回答者数 1,709人(回答率:52%)

【内訳】

	回答者数 (A)	対象者数 (B)	回答率 (A/B)
正規職員	1,012人	1,665人	61%
会計年度任用職員	697人	1,646人	42%
合計	1,709人	3,311人	52%

※ 今後、本アンケートを定期的 to 実施し、意識の変化を経年比較します。



目標ライン 70%

約2/3以上が「思う 計」を選択

～ 人事改革の方針「目指す方向性」の実現に向けて 職員の皆さんへのお願い ～

- 1 仕事への意欲や成長意欲を持った職員がとても多いです。成長実感や達成感が得られる承認や感謝のコミュニケーションを積極的に取り入れ、承認実感を高め、各職員の仕事への意欲をさらに高めていきましょう。
- 2 地域や現場に出向く時間を確保していると感じている職員の割合を増やしたり、公務外での地域活動を促進していく必要があります。コミュニケーションを一層確保し風通しの良い職場風土の醸成を図ったり、セルフチェックや人事評価制度のチャレンジ項目を活用する等により、地域や現場に出向く時間をさらに確保できるように、日頃の業務を少しずつ改善していきましょう。
- 3 自由に意見が言えたり、相談しやすい雰囲気に関心する職員は多いですが、チャレンジすることに少し苦手な組織のようです。引き続きチャレンジする職場風土を醸成していく必要があります。研修で学んでいる部下指導のコミュニケーション手法を実践する等により、職員のチャレンジを促していきましょう。
- 4 チャットやオンライン会議等のデジタル技術の活用により業務効率化が進んでいると感じている職員は、全体の半分程度です。コロナ禍を経て活用が進んだデジタル技術により情報共有を図りやすい環境になっています。メールやLoGoチャット、Zoomを活用し、横断的な連携に向けて、まずは情報共有を進めることから始めてみましょう。
- 5 業務の効率化等を通じた時間外勤務を縮減する等によりワークライフバランスがとれていると感じる職員を増やしたり、執務環境の改善を進める必要があります。このためには、一人ひとりの職員が、業務の進め方を見つめ直したり、創意工夫により働きやすい職場環境をみんなで確保するように知恵を出し合い、実施していきましょう。
- 6 職員研修を資質・能力の向上につなげる仕組みや、日頃から職員が自己啓発や自己研さんに取り組める環境整備の取組も活用しながら、「自ら育つ(人材育成方針より)」を実施しましょう。